



“ウーパールーパーの手”

園長 高杉 洋史



寒い日が続きますが、幼稚園にはこの寒さが好きな生物がいます。植物ではチューリップやパンジー、ビオラなどです。チューリップは冬の寒さを経験しないと花芽がでず、春になっても葉っぱだけが大きくなるのだそうです。今回の話題はウーパールーパーです。玄海ゆりの樹幼稚園に貰われてきて6・7年にはなりません。最初は小さくて可愛かったのですが、今はいかにも両生類だという動きをしてくれます。要するにじっとしている時間が長いというか、プカーと水面近くに浮かんで寝ているとかです。ところが夜になり人が見えないところでは結構激しいことをしてくれます。60センチ水槽を真ん中で仕切って、右に黒いの、左に白いのが入っているのですが、時には2匹が一緒になったり、時には入れ替わっていることもあります。仕切りを押し倒して移動するのです。ハプニングは2021年の8月に起こりました。クロちゃんがシロちゃんの右手と左足を食べちゃったのです。それでもシロちゃんはいつもものようにのんびり暮らしていたのですがなんと12月に指が生えてきました。今の所全く以前の通りの大きさとはいかないものの、見栄えは良くなってきました。次第に元の大きさに育っているようにも見えます。両生類はすごい。もちろん植物だってすごいです。

11月までペチュニアやカーネーションが咲き続けてくれたので、だめもとで株元に挿し芽を試してみました。これがうまく発根して育っているのです。植物の方は手の指どころか植物体全体のクローンができるのだから大したもの。長年生きていると耳学問でトカゲの尻尾きりの話や挿し木やさしめの話は知識としては知っていましたが、実際に経験すると一段と面白い。今年も子どもたちと、「へええ」とか「はああ」とかいふ経験をしたいと思います。

手始めにチューリップの水栽培とシイタケの菌床による栽培をします。年末にはあい組のシイタケが直径20センチ近くまで成長しました。今から春にかけてどんどんできてくることに期待しています。

